

第4章 医療の状況

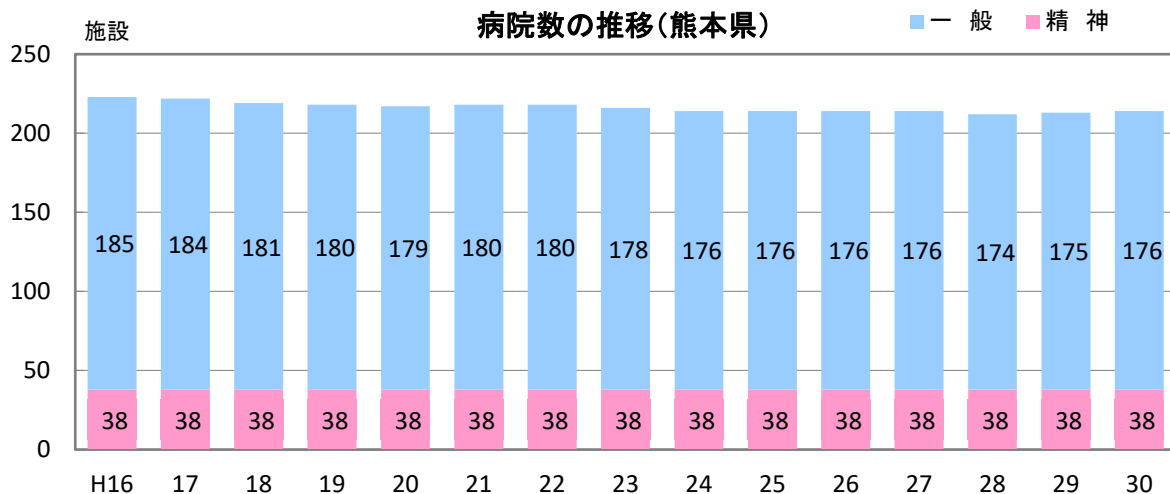
1. 医療施設

(1) 病院、一般診療所及び歯科診療所の全てで増加

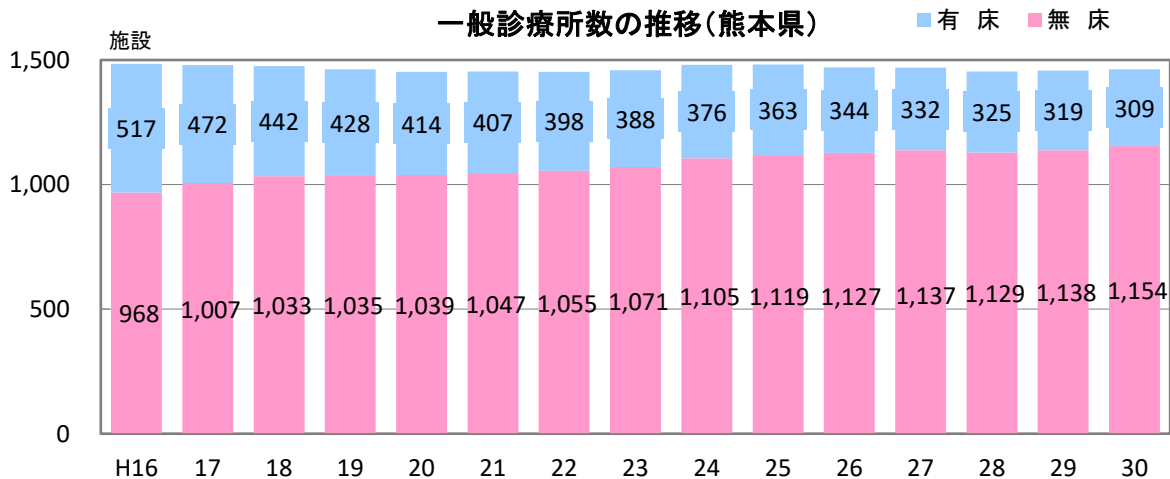
平成30年10月1日現在における熊本県内の医療施設数総数は、2,524施設(ただし、「休止・1年以上休診中」の施設を除く)で前年から10施設増加した。

病院は214施設で、前年から1施設の増加。一般診療所は1,463施設で、前年より6施設増加している。その中で有床診療所(309施設)は年々減少する一方、無床診療所(1,154施設)は増加傾向であり、今回は16施設の増加となった。歯科診療所は847施設で、前年より3施設の増であった。

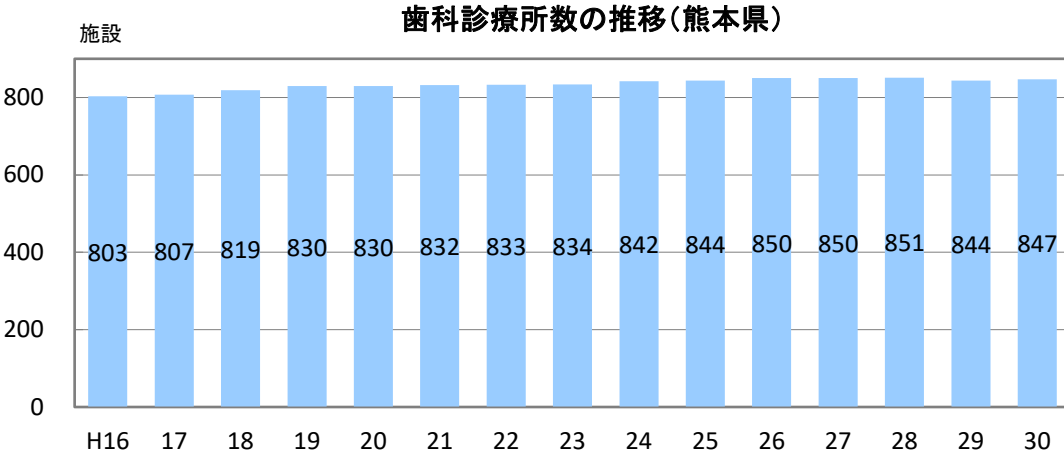
人口10万当たりの病院数と一般診療所数は全国より多いが、歯科診療所数は全国より少ない。開設者別にみた施設数では、病院は「医療法人」が164施設(病院数の76.6%)と最も多く、次いで「公的機関」が24施設(11.2%)である。一般診療所は、「医療法人」が774施設(一般診療所数の52.9%)と最も多く、次いで「個人」が401施設(27.4%)となっている。歯科診療所は、「個人」が627施設(歯科診療所数の74.0%)と最も多く、次いで「医療法人」が216施設(25.5%)となっている。



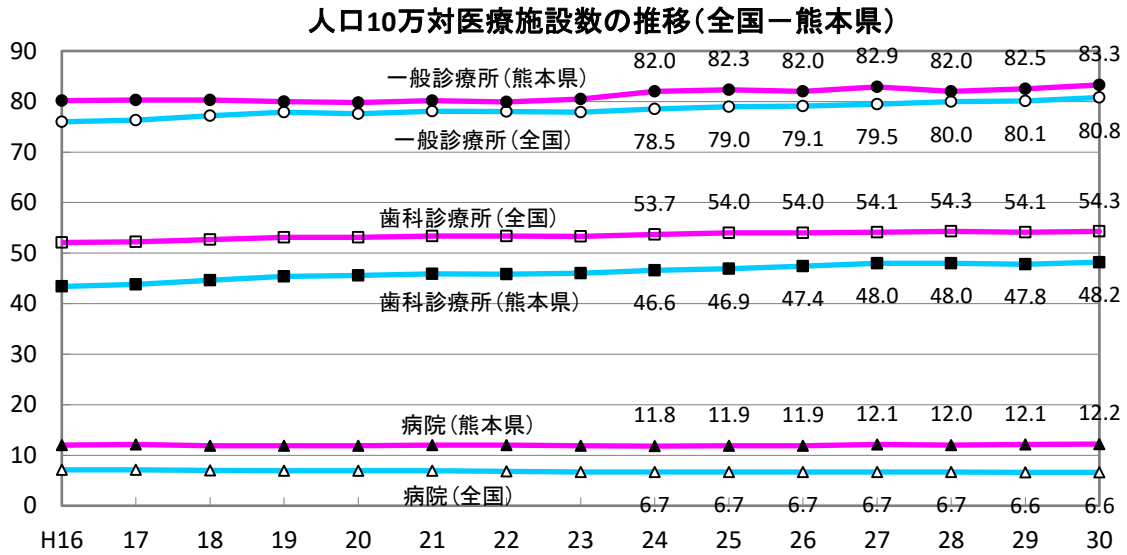
資料) 厚生労働省「医療施設調査」(各年10月1日現在の施設数)



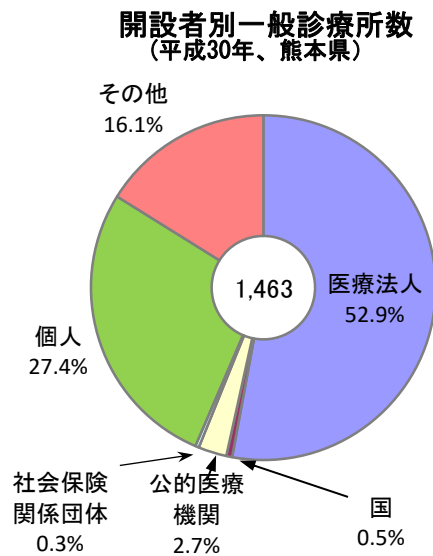
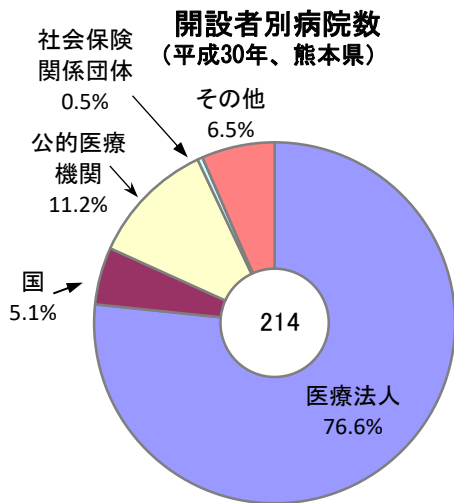
資料) 厚生労働省「医療施設調査」(各年10月1日現在の施設数)



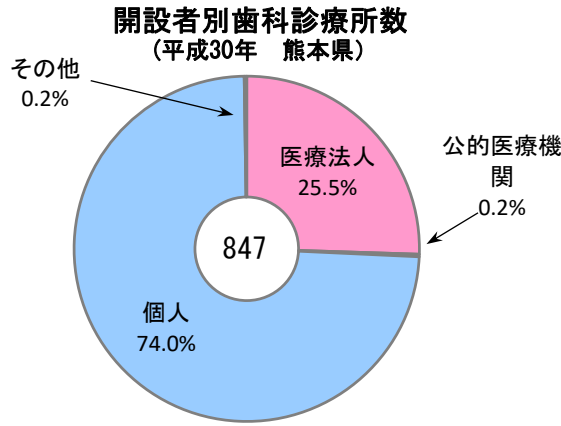
資料) 厚生労働省「医療施設(静態・動態)調査」(各年10月1日現在の施設数)



資料) 厚生労働省「医療施設(静態・動態)調査」(各年10月1日現在の施設数)



資料) 厚生労働省「平成30年医療施設(静態・動態)調査」(10月1日現在)

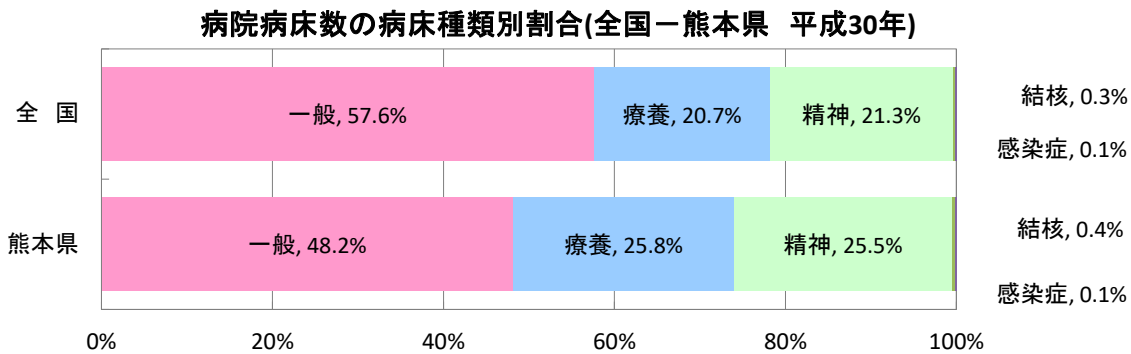
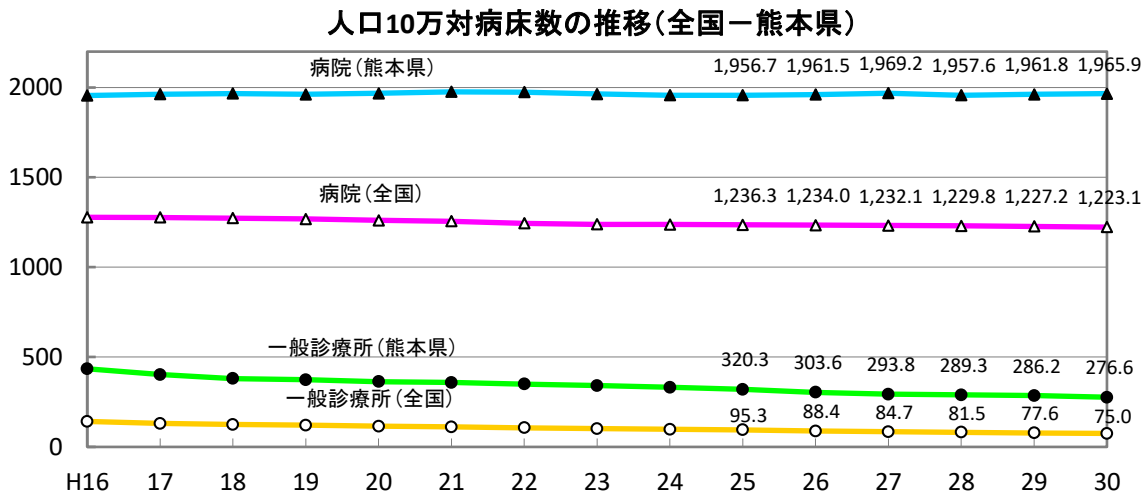


資料) 厚生労働省「平成30年医療施設(静態・動態)調査」(10月1日現在)

(2) 病院の病床数は増加し、一般診療所の病床数は、減少

平成30年10月1日現在の人口10万対病床数は、熊本県で病院が 1,965.9床(精神病床 501.4床、感染症病床 2.7床、結核病床 7.1床、療養病床 507.5床、一般病床947.1床)、一般診療所が276.6床、歯科診療所が0床であった。

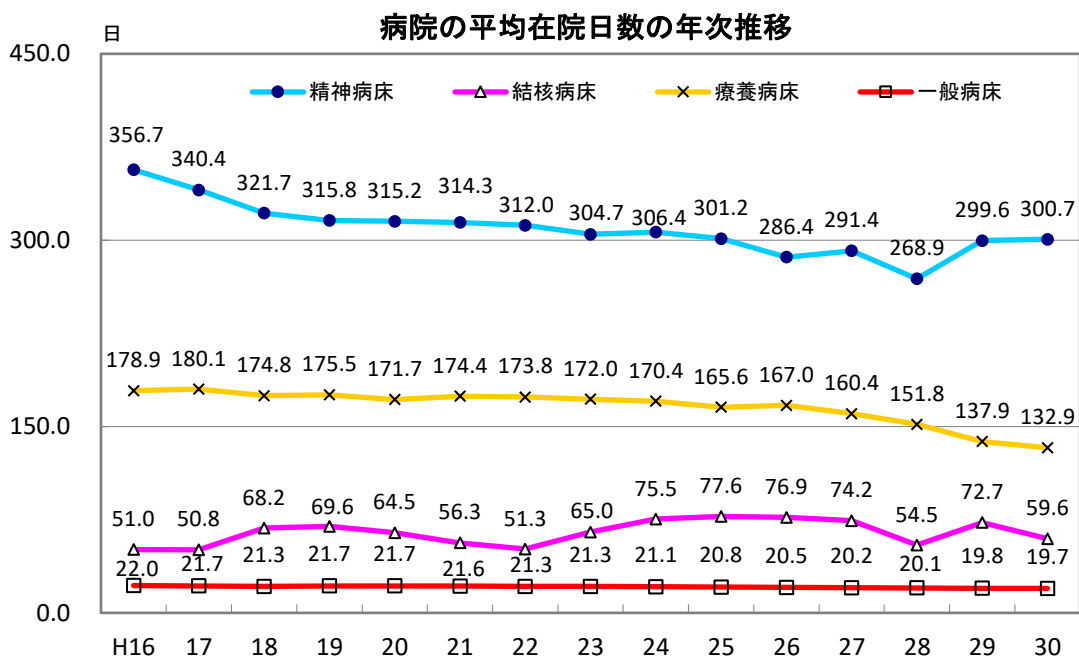
病床数は、病院で前年に比べ4.1床(人口10万対病床数)増加し、一般診療所においては前年より9.6床(人口10万対病床数)減少している。全国の病床数も減少傾向だが本県との差は大きく、依然として全国に比べて病床数は多い。



資料) 厚生労働省「平成30年医療施設(静態・動態)調査」(10月1日現在)

(3) 病院の平均在院日数は、精神病床で増、結核・療養・一般病床で減

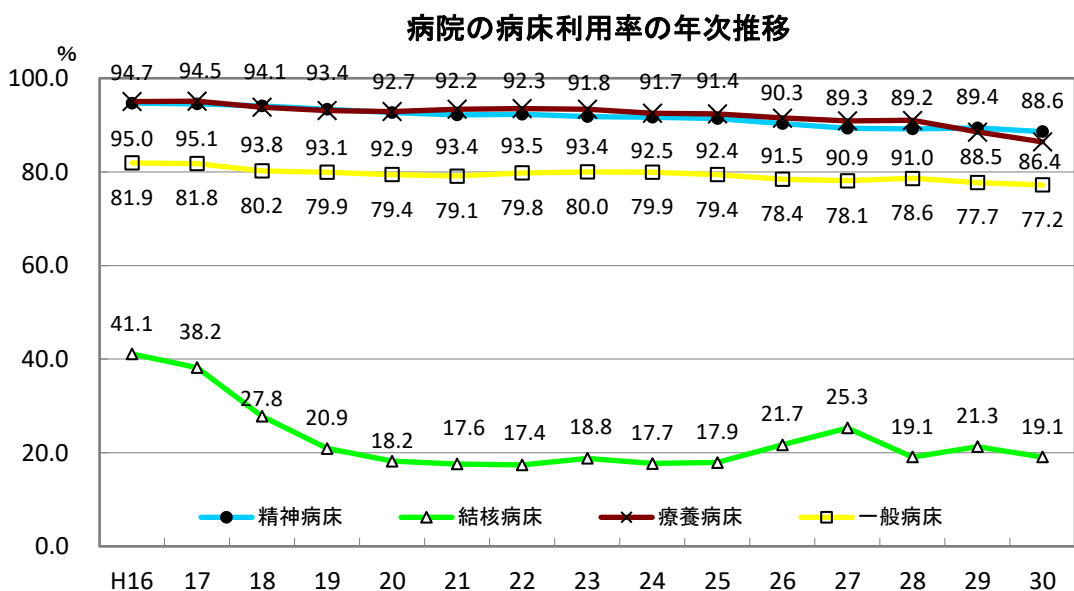
病院の平均在院日数の年次推移をみると、前年と比較して、精神病床で1.1日増加、結核病床で13.1日減少し、療養病床で5.0日減少、一般病床で0.1日減少している。



資料) 厚生労働省「病院報告」

(4) 各病床の病床利用率は、精神・結核・療養・一般病床で減

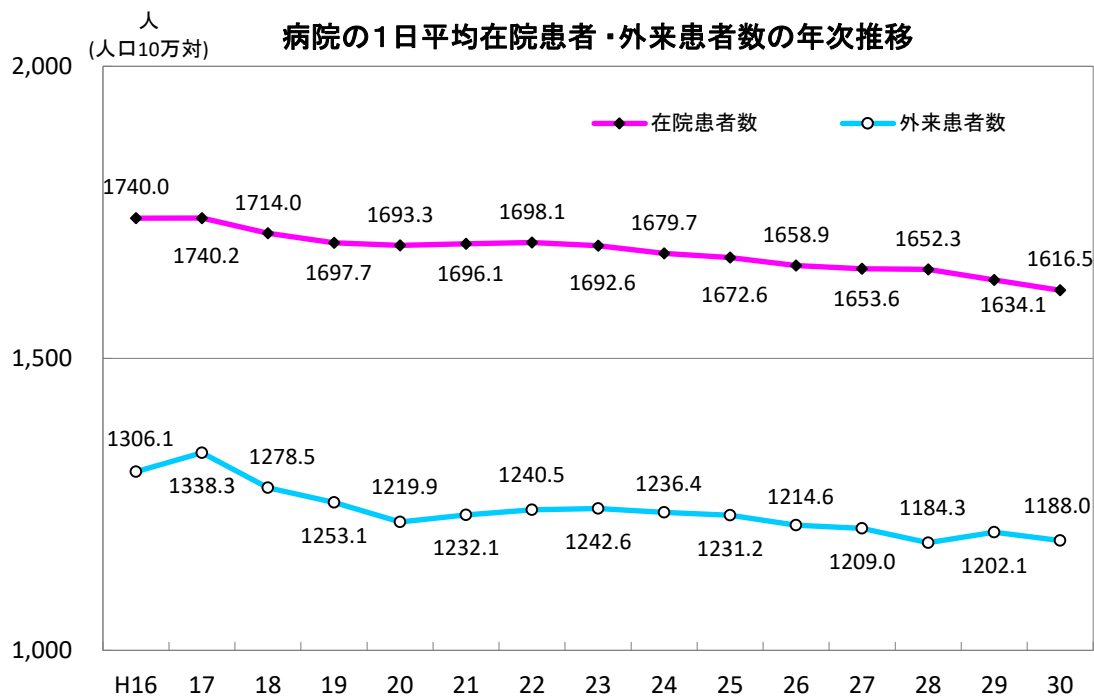
病院の病床利用率をみると、前年と比較して、精神病床で0.8ポイント減少、結核病床で2.2ポイント減少し、療養病床で2.1ポイント減少、一般病床で0.5ポイント減少している。



資料) 厚生労働省「病院報告」

(5) 病院の1日平均在院患者数、外来患者数ともに減少

病院における平成30年の人口10万対1日平均在院患者数は1,616.5人で、17.6人減少し、人口10万対1日平均外来患者数は、1,188.0人と、前年に比べ14.1人減少している。



資料) 厚生労働省「病院報告」